

PRESENT

アンケートに答えてプレゼントをGETしよう!

応募期間
7/1~7/31

A 秩父札所15番 少林禅寺
納経帳

5名様



4ページで紹介した秩父札所15番 少林禅寺の「納経帳」を5名様にプレゼント!

B 秩父 ははそたい焼き
たい焼き
ポケットティッシュケース

1名様



7ページで紹介した秩父 ははそたい焼きの「たい焼きポケットティッシュケース」を1名様にプレゼント!

C 秩父鉄道
SLパレオエクスプレス
プレートタオル

1名様



秩父鉄道の「SLパレオエクスプレス プレートタオル」を1名様にプレゼント!

秩父鉄道ホームページ内の
応募フォームからお申し込みください。

秩父鉄道 検索 または



当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、重複応募は無効とさせていただきます。
※皆様の個人情報は、個人が特定できない範囲での統計データ作成・プレゼント当選時の発送の連絡のみに利用します。ご本人の承諾なく上記目的以外に個人情報を利用又は第三者に提供することはありません。なお、賞品発送業務は㈱コアに委託をしています。また、賞品の発送は提供元からお送りすることもあります。

秩父鉄道 公式アカウント

旬な情報を配信中!
お出かけ前にチェックしてみてください

@paleo_palena

YouTube
秩父鉄道公式チャンネル

chichibu_railway

Instagram

これからもPALETTEをもっともっと
楽しめるよう「PALETTE写真部」活動中!

例年開催の「秩父鉄道写真コンテスト」にて、
Instagramでの応募限定
「PALETTE写真部部門」を新設しました!

PALETTEにて紹介された場所、カフェ

秩父鉄道のすてきな景色、思い出

PALETTEの映っている景色

等をハッシュタグ

#秩父鉄道写真コンテスト

#PALETTE写真部

の2つをつけて投稿すると、応募完了!
詳しくは、秩父鉄道HPまたは秩父鉄道公式Instagramをご覧ください。

推薦
5名

PALETTEオリジナル「カメラレンズ
キャップホルダー」をプレゼント
およびPALETTE
10月号にて
作品を掲載

レンズキャップがなくなるよ
ように入れておけるよ



入選
15名

PALETTE「オリジナル
ペンケース」をプレゼント



*イメージ

応募期間:6月1日(火)~7月31日(土)

入賞作品は、
リポスト(9月末頃)します!

他にも /
#PALETTE編集部 #みんなでつくるPALETTE
のハッシュタグで活動中なのでぜひチェックしてください!

青森はちのへフェア

6/12(土)~7/20(火)

秩父地場産センター物産館

秩父鉄道「秩父駅」駅ビル1階

10:00~17:00 水曜日
368-0046 埼玉県秩父市宮側町1-7
0494-24-6966



特大プレミアムしめ鯖
770円

八戸銀サハとろづけ丼
1,000円

鯖の冷燻
360円

八戸カップ
せんべい汁
600円

他にも
青森はちのへ商品
盛りだくさん!

TV・雑誌で
話題のサバ缶
秩父上陸!
全種類楽しめるのは
地場産だけ!

日本一脂が乗ったサバと評される「八戸前沖さば」を使い、世界各国の料理や調味料の味付けをした7種類の「サバ缶バー」が秩父に上陸!津軽海峡の塩、ゆずこしょう、トムヤンクン、ハバネロ、アヒージョ、グリーンカレーなど、ぜひお気に入りを見つけてください!

ビデオグラファーであり、横瀬町地域おこし協力隊としても活動する

宮下遥明さんにインタビュー!

第44回

きょうり
ストーリー
治線でかがやきつづける方に
インタビュー!

映像制作の拠点を
東京から横瀬町へ

宮下 遥明さん
(ビデオグラファー)

2020年の外出自粛期間をきっかけに、これからの働き方や暮らしについて見つめ直すようになった、という人は多いだろう。ビデオグラファーの宮下さんもその一人だ。これまで都内の映像制作会社で6年、企業や商品のPRを中心に500件を超える映像制作を担当。企画から構成、撮影編集までマルチに行ってきたが、コロナショックによってリモートワークが増加し、住む場所にとらわれない働き方を模索するようになったという。そんな折に見つけたのが、横瀬町の地域おこし協力隊についての情報だ。「いつか地元秩父に戻って、自分が培ってきたスキルを還元したいという思いがあったので、まさにいいタイミングだったと思います」

隠れたまちの魅力を
掘り起こしていきたい

2020年11月に、横瀬町地域お

「動き」を意識して
カメラを回そう

動画投稿サイトの人気で、旅先でカメラを回す人も増えているが、良い動画を撮るコツについても聞いてみた。「写真と違って、動画は『動きのあるもの』を撮ることができると魅力。葉が風で揺れる様子や木漏れ日が差し込む様子などは、動画だからこそ表現できること。まずは、そうした素材を

3年の任期の中で、今後は『人』にもフォーカスを当てていく予定だ。「横瀬町はクリエイターを応援する土壌もあり、新しいことを始めることに非常に前向きです。最近ではアウトドアでテントサウナをする『川とサウナ』といった変わった企画も出てきたりと、面白い人たちがたくさんいるので、SNSでも積極的に発信していきたいです」

こし協力隊に就任。移住後はフリーランスとして都内の仕事を引き受けつつ、映像を通して地域の魅力を発信する横瀬町の事業に携わる。「横瀬町は自然豊かで四季によって見える顔が全く違う。青々とした稲が風に吹かれる『寺坂棚田』や荘厳な雰囲気漂う『あしがくぼの氷柱』など、魅力が詰まった町だと思います。また、お祭りなど地域の歴史を映像として残していくことも大切な役割だと感じています」

活動の様子などは
こちらを
ご覧ください



御朱印めぐりの思い出を、カメラとともにぜひ挑戦してみてください。

見つけてほしい」と語る。また、ストーリー仕立てで撮影することも大切だ。「動画を見てもらえると嬉しいから、最初の5秒で決まると言われています。だからこそ、はじめに重要なテイストを持つことが大切。例えば、この時期の秩父札所なら青々としたモミジのアップといった印象的なシーンを撮り、その後ワイドに切り替えて境内全体の様子を撮る、などさまざまなシーンを組み合わせ、メリハリのある動画を作ってみてください」

